

考えてみませんか、私の人権、あなたの人権。

# 人権だより

総務課（吉備庁舎）

電話 22-3291

ファクス 52-3210

## 人権特設相談所

日常生活や身の回りの人権問題について、人権擁護委員が相談を受けます。相談は無料で、秘密は厳守します。

●日時／1月15日（木）13:00~16:00

●場所／金屋文化保健センター

## 電話による人権相談窓口

みんなの人権 110 番（さまざまな人権問題）

☎ 0570-003-110

こどもの人権 110 番（いじめ・虐待など子どもの人権問題）

☎ 0120-007-110

## 講演会と大阪・関西万博見学

副島淳さんの講演会で、私は受け付けや資料配布を担当し、来客対応を行いました。講演前、廊下で副島さんをお見かけした際、その体格の大きさとアフロヘアの迫力に、思わず二度見してしまうほど驚きました。

しかし、講演が始まりお話を聞くと、明るくおらかな雰囲気からは想像できない、思春期の壮絶ないじめ体験について語られました。容姿が周囲と違うという理由だけで執拗ないじめを受け、自殺を考えたこともあるそうです。そんなとき、母親は本人の登校拒否の気持ちを否定せず、あっけらかんと笑いながら肯定的に受け止め、副島さんが生まれたときからの容姿の違いを受け入れてきた覚悟を諭してくれたと言いました。

中学校に進学してからは、体格差が出てきたことやバスケットボールで活躍したことや自信が生まれ、いじめた同級生とも対等に関われるようになったそうです。しかし、過去の経験による感情は、今でも心の隅に残っていると話されていました。

私は精神科看護師として働いてきた経験から、思春期のいじめがその後

の精神疾患の発症や生きづらさにつながる場面を多く見てきました。有名になられた方であっても、心に負った傷が消えるわけではない現実を改めて実感し、学校や家庭でのフォローがいかに大切か痛感させられました。次に、大阪・関西万博の委員研修についてです。当日は秋空が広がり気温も過ごしやすく、研修にはびつたり一日となりました。会場に到着すると、まず目に入ったのは大屋根リングで、その迫力に圧倒された参加者が多かつたのではないのでしょうか。

9時30分ごろに入場し、まず予約不要のコモンズ館（A・B・C館）へ向かいました。コモンズ館では、アフリカや中南米、南太平洋の島国など小規模な国の展示が行われており、一つの建物の中で区画が国ごとに分かれていました。その中には、第二次世界大戦中に旧日本軍が占領していた国もあり、日本式教育や社会システムが現在も残っていることを知り驚きました。背景には人権侵害があったことを想像できますが、それでも今も残っている文化や制度があることは、歴史の複雑さを感じる場面でした。

また、歴代首相との写真が展示されており、現在の友好関係は、平和的なアプローチや長年の交流の積み

重ねで築かれたものだと感じました。今回の研修を通じ、多様な文化や歴史に触れ、改めて人権や多様性について考える機会となりました。

人権機関有田川理事 岩本哲男

## 人権機関有田川

### 秋の啓発活動

令和7年（2025年）10月～11月に、次のとおり啓発活動を実施しました。今後とも啓発活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・人権啓発標語作品の展示
- ・チューリップ球根の配布
- ・JR藤並駅での啓発活動
- ・各小中学校への訪問
- ・事業所訪問（清水地区）

